

埼玉 広報

第104号

2023年2月1日発行



飯能市 トーベ・ヤンソンあけぼの子供の森公園

公益社団法人 埼玉県柔道整復師会

<http://www.saisetsu.or.jp>

目 次

不易流行	会長 大河原 晃	1
道徳と経済について	副会長 渡辺 一民	3
新年のあいさつ	専務理事 荻野 義之／財務部長 磯田 和男／保険部長 山本 光彦／ 事業部長 増田 泉／学術部長 原田 禎久／広報部長 楠美 明人／ 保険担当理事 清水 芳之／監事 松井 雄二／監事 吉田 幸作	

事業報告

令和4年度 保険業務講習会を振り返って	保険部長 山本 光彦	8
日整全国少年柔道大会	事業部長 増田 泉	10
令和4年度埼整学術研修会・ほねつぎ技術講座報告	学術部長 原田 禎久	11
(公社) 栃木県柔道整復師会との情報・意見交換会を開催	総務部長 荻野 義之	12

受賞報告

第66回埼玉県公衆衛生大会 ～公衆衛生事業功労者県知事表彰受賞～	広報部	12
-------------------------------------	-----	----

埼整学術研修論文

運動療法としての歩行訓練 — 腰痛・膝痛・足関節痛と歩行訓練 —	東松山支部 山崎 博之	13
アキレス腱再断裂後の一症例 — 再断裂後の経過について —	準会員 中村 直人	16
スポーツに及ぼす世界の身体構造の違い — 世界で戦う為の体づくり —	呉竹医療専門学校 木村 翔太	19

「手で学ぶ」

～令和4年度第1回支部学術研修会の開催報告～	大宮支部長 池田 晃一	22
浜島桂先生を偲んで	埼柔ツーリング同好会 代表 柿沼 泰広	23
監事雑感	西部支部 松井 雄二	25

柔整考学…その5	常務理事 山本 光彦	27
さいせい堂書店	常務理事 山本 光彦	28
新入会員紹介（令和4年7月1日～令和4年11月30日入会）		29
ご報告		29
本会会員分布図		30
表紙の説明		31
編集後記		31
柔整倫理綱領について		32
広報部から		32

不易流行

会長 大河原 晃



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様方には、健やかに良き年をお迎えの事とお慶び申し上げます。昨年も会務運営にご理解・ご協力頂き執行出来ました事、衷心より御礼申し上げます。

さて昨年を振り返りますと、世界人口が80億人を突破し、インドが中国を抜いて世界一になる見通しです。一方で紛争も絶えず、新型コロナウイルス感染症が流行し2年目を経過しようとしている中、ロシアによるウクライナ侵攻が始まりました。多くの犠牲者が出る中、エネルギーを始めとするあらゆる物が高騰し、多くの国の人々を困窮させています。特に欧米のインフレに伴い、ドル高・円安が進み、各国の産業構造にも大きな歪みが出てきています。人間は戦争の愚かさを知っているはずですが、1日も早い和平を祈るところであります。また年央には参議院選挙応援演説の最中に安倍元総理が凶弾に倒れました。全く痛ましい事件であり、残念でなりません。ご冥福をお祈り致します。

我が業界においては、1年に日整の会長が2度も変わり、後半には国試漏洩問題で逮捕者まで出るという大変な年でした。これにより国民の信頼を大きく失ったのは事実であり、真摯にしっかりと受け止め、二度とこの様な事が起きぬ様、再発防止に万全な対策を講じなければならないと思います。一方でこの10年間、施術所が10,000件も増えたにも関わらず、療養費が1,000億円も減少した事は誰が計算しても納得のいく事ではありません。しっかりと検証して、業界の現状を訴えていかななくてはなりません。また、この2年間コロナ感染防止の為にオンラインで行っていた保険業務講習会・学術研修会等を、対面の人数は制限しながらも3年振りにハイブリットで行えました事は、実に良かったと思います。今後もワクチンの接種等がかなり行き渡っている状況下、コロナウイルスの感染状況を見ながら、事業を執行して行きたいと思えます。

さて、この様な中で3つの課題をお話しさせていただきます。

- 1、信頼の回復と質の担保
- 2、更なる少子高齢化への対策
- 3、保険証のマイナンバーとの一体化

1に関しては、前述した様に昨年は色々な事が起きました。柔道整復術が公認されてから100年が過ぎました。その間、先達も幾多の困難と闘いながら、今日まで連綿と業界を繋いできたのも事実です。我々も今置かれている状況をしっかりと認識しながら、更に一つ一つ地道な努力を積み重ねていく事が大切だと思います。また「質の担保」に関しては、平成9年から始まった学校乱立に起因する事が、非常に大きいと思います。巷の看板等には、接骨院・整骨院とかけ離れた内容のものを散見します。これでは第三者が見て、我々が何を施術しているのか分からなくなっているのも無理はありません。また施術においても、鑑別診断が難しいもの、自分の技量を越えたケガ等は近隣の医療機関への紹介並びに医接連携で対処し、信用を積み重ねて行く事が重要です。「ローマは一日にしてならず」です。地域連携の観点からも、しっかりと実績を積み上げて頂きたいと思えます。

なお、それに伴い日整が始めた「指導者養成講座」と昨年から本会で始めた「ほねつぎ技術講座」も技術継承のしっかりした基盤作りの為、継続事業として行っています。

2に関しては、0～64歳の人口が2040年迄は年間100万人ペースで減少し、65～74歳の人口はほぼ横ばい、75歳以上の人口は2025年迄は50万人ペースで増加し、その後はスピードが鈍化していくと言う報告があります。この様な中で医療需要のピークは2025年でその後減少し、介護需要のピークが2035年と言われています。各都道府県で多少差はあると思いますが、人口構造の変化と共に疾病構造も変化して行きます。我々も地域にしっかりとネットワークを作り、高齢者の拘縮した関節や筋力低下による転倒、生活動作の中での軽微なケガに、今まで以上に万全の対策を講じていかななくてはならないと思います。また機能訓練指導員としても、高齢者の方々の身体機能を低下させない為に、転倒予防等の指導・訓練にも、更に貢献していかななくてはならないと思います。

3に関しては、業界のデジタル社会に対する対応の遅れがあります。ここでは、今、日整が進めている電子請求に関しては割愛させていただきますが、2024年秋に保険証が廃止となり、マイナンバーカードと一体化するという政府の方針が出されました。これに伴い我々業界も財政的支援の要望書を提出しました。その結果、令和4年10月28日に厚生労働省の社会保障審議会医療保険部会で承認され、カードリーダーの無料配布と専用アプリの開発に関わる費用の獲得に確約を頂きました。しかし実際マイナンバーカードの普及率は現在約50%です。政府もこの現状を鑑み、受診に支障が起らない様、しっかりと対策を立てていくと言っています。我々も「保険証とマイナンバーカードへの一体化」に向け、支障をきたさない様に院内のインターネット環境等を整備しなければなりません。

最後になりますが、不易流行という言葉があります。「不易」は、いくら世の中が変わっても変わらないもの、変えてはならないもの、「流行」とは世の中の変化と共に変わっていくと言う意味です。我々も根底に柔道整復術の錨をしっかりと下ろして、将来展望を見据えながら世の中の変化に対応して行きましょう。今年卯年。「時代の終わりや始まりを告げる年」だそうです。今年も皆様方のご健勝・ご多幸を祈りつつ、皆様方と共に役員・事務局一丸となって前進して行きたいと思っておりますので、何卒宜しくお願い申し上げます。



日本医師会 松本吉郎会長と

道徳と経済について

副会長 渡辺 一民



2023年1月明けましておめでとうございます。

昨年と同様で、本年もまたコロナ禍でおまけに第8波の到来といった時期での挨拶となりました。

中国国内の異例の対応はともかく、わが国では経済対策も同時進行対応となっています。政治も経済も混沌として不安定の中では苦悩や不安に駆られやすいものでありますが、苦しいながらも、何とか生活していけるように算段していかねばなりません。そんな中、斯界のリーダーである日整のここまでは、よもやの逮捕者を出すなど目を覆うばかりでありましたが、生まれ変わった日整は伊藤述史新会長を筆頭に多方面に亘り、医療改革の真っ只中、業界のためにと身内の派閥争いや抗争をやめ改革と改善に向けて努力しているものと信じています。

言うまでもなく、埼玉社団も大河原会長のもと意見や相談にも執行部は事務方も含め、細やかに配慮して対応しております。これからも今まで以上に一段と風通しの良い健全な組織を目指し、内部では会員同士の質の向上に向けて、**学問としての「柔整学の再構築」**を目指し、**更なる努力を惜しまぬこと**、また、是々非々の精神を忘れず、**「不正請求の是正」**に本気で取り組むこと、この2点に集約されると思いますので、なお一層鋭意努力して参ります。

また、外部には我々公益社団会員を先頭に、現代社会の中で、歴史的に見ても、自然治癒力を合理的に生かす優れた医学的技術を持つ柔道整復師が如何に必要とされているか！をSNSなども踏まえ、積極的にアピールしていくことが必要であり、我々柔整師が社会から抹殺されないためにも必ずやらねばなりません。

最後に恒例の「論語」に薫陶を受け、わが埼玉が生んだ日本企業の先駆者であり偉人の**渋沢栄一**が著した「**論語と算盤**」が有名ですが、「何故一見相反する言葉をタイトルにしたか？」には諸説ありますが、本文中に頻繁に出てくるので要点のみですが、渋沢本人は以下の如く述べています。

◀ 平生より**論語と算盤**は甚だ不釣合で、大変に懸隔したものであるけれども、甚だ遠くして甚だ近いものであり、一致すべきものである…

国を治め民を濟うためには道徳が必要であるから、常に**論語（道徳）と算盤（経済）**との調和が肝要であるのだ… 真正の利殖は仁義道徳に基づかなければ、決して永続するものでない ▶ と



新年のあいさつ



専務理事 荻野 義之



明けましておめでとうございます。

会員皆様におかれましては健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

本会の会員数は、2002年878名でしたが2022年9月の会員数は758名と100名以上減少しました。

新入会員増員に向け昨年4月より、学生準会員等、準会員規定及び入会金について見直しを行いました。一昨年行われた会員拡大委員会でのいろいろな意見を聞いた中の一つであります情報の発信として、本会でTwitterを手探りの状態ですが始めました。会員皆様からの情報も会の方へ連絡できましたらお願いします。

昨年の日整では、不祥事が続きましたが、伊藤日整会長を中心に役員一丸となって業界の信頼回復に全力で取り込んでいると聞いています。大変厳しい状況が続くと思いますが本年も会員皆様とともに県民の公衆衛生に努めていきたいと思っておりますのでご指導ご協力をお願い申し上げます。

会員皆様のご多幸を申し上げ新年の挨拶とさせていただきます。

財務部長 磯田 和男



明けましておめでとうございます。

日頃より会務にご理解とご協力いただきまして、感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症による未曾有のパンデミックに見舞われたこの三年余り、現在はコロナと共生しながら日常生活を取り戻す「ウィズコロナ」が支持を広げています。これに加えてロシアとウクライナの戦争が激化し長期化する事が心配されています。

物価の上昇、電気、ガス、水道料金が上がり窮屈な生活を強いられて来たかと思えます。

大河原会長より埼玉県へ、燃料費、物価高騰の影響をうけている施術所への助成要望を出した結果、11月26日新聞等に記載されました、県議会12月定例会に施術所助成のための補正予算案が提出され、施術所あたり二万円の助成金を獲得できる見込みとなりました。

本年も厳しい環境下であります、理事定数一名削減、事業の見直し、web会議の活用、経費削減に努め、会員の皆様の貴重な会費を会員の皆様にとって有効活用できますよう取り組んでまいります。

会員の皆様からのご指導、ご鞭撻を心からお願い申し上げます。

保険部長 山本 光彦



明けましておめでとうございます。皆様にはお健やかに新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。昨年は、皆様から温かい、そして力強いお言葉で叱咤激励をいただきましたこと改めてお礼を申し上げます。皆様のご期待に応えることができますよう、年頭に決意を新たにして努力してまいります。

昨年は集会とWeb配信による新しい形の保険業務講習会を開催いたしました。コロナ禍が終息せず、残念ながら集会は人数を制限いたしました。しかし、多くの皆様に講習会の配信をご視聴いただき、ウイズコロナの方法も少しずつではありますが形になってきました。ご協力に感謝いたします。

多大な犠牲を伴うでしょうが、業界の変革は必要との覚悟を決め、引き続き緊張感と危機感を持って全力を尽くします。

本年も皆様にとりまして素晴らしい年となりますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

事業部長 増田 泉



あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては健やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

昨年は事業部として公益事業の1つである少年少女柔道大会、形競技会を感染防止対策を実施して3年ぶりにビッグタイトルで開催することができました。

しかし残念ながら会員の大会は、日整から全国大会開催を見送ると通知があり、予選は中止になりました。

もう1つの公益事業の市民公開講座を健康フェスタとして予定していましたが、コロナ感染拡大の為やむを得なく中止とさせていただきました。

今年度も市民公開講座を開催予定で準備を進めています。たくさんの県民の方々に会場してもらい柔道整復師、接骨院、整骨院、ほねつぎの仕事の内容を宣伝し、もっと周知してもらえるような内容にしたいと思います。多くの会員の皆様にも参加していただけたらと考えていますので、何か要望等ありましたら連絡して下さい。

本年も皆様と共に県民の健康維持増進を目的に活動していきたいと思っておりますので、本年も引き続きご指導ご支援のほどよろしくお願いいたします。

学術部長 原田 禎久

新年明けましておめでとうございます。昨年は皆様のご理解、ご協力により新企画である、「ほねつぎ技術講座」が7月、11月の2回開催され、若手の会員には柔道整復師の登竜門とも云える「前腕骨遠位端骨折」コース、スミス骨折の局所解剖、整復固定理論に対して理解を深め、実技では整復操作のコツや包帯法を繰り返す行うことで参加者の技術向上に寄与できたと確信しております。しかし継続しなければ意味がありません。更に充実した実技研修ができるよう私も努力精進して参ります。また、会員の研究発表の場である学術研修会では今年度から準会員と学生にも発表してもらいましたが、門戸を拡げ本会の底上げに繋がる研修会や学術イベントになるよう努めて参りますので、会員各位には本年もご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



広報部長 楠美 明人

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

日頃の会務運営にご理解とご協力、ご指導いただきありがとうございます。

本会の事業も開催され、誌面に掲載する記事も増えてきました。支部や市町村での活動が再開されるようになりましたら、ご投稿心よりお待ちしております。

本会でも公式ツイッターを開設、新たな情報発信の場として、事業内容や活動状況などを発信していきます。ツイッターアカウントをお持ちの方は、ぜひフォローをお願いします。

今後も、会員の先生方一人一人の力をお借りして、事業に取り組んで参りたいと存じます。引き続きご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

新しい年が更に良い年になるよう祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



保険担当理事 清水 芳之

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は本会事業の推進に深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は柔整業界を震撼させる不祥事が発生し、強い憤りとショックを受けました。

また、厚労省の検討委員会においては継続的に議論されていた「明細書の義務化」、「不適切な患者の償還払いへ変更」が施行されるなど、今までに無いスピード感で粛々と制度改革が進められています。このような厳しい状況のなか日整役員の方には、厚労省や保険者の主張に対して受け身になるのではなく、積極的に療養費請求のための新たな提案をしていくことを期待しています。



埼玉柔整としてもこれから益々厳しくなる療養費請求に対してコンプライアンスのもと何を守り、何を切り落としていくのかを真剣に考える時期に来ていると思います。本年度も電子化、オンライン資格確認の推進などの課題もあり、会員の皆様と一丸となって強い忍耐力と結束力を持って進んでいかなければなりません。ご支援、ご協力の程宜しくお願いいたします。

おわりに、皆様にとって健康で幸多き年となることを祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。

本年も宜しくお願い申し上げます。

監事 松井 雄二



新年おめでとうございます。

会員皆様が本年一年、ご健勝での御活躍ができることをお祈り申し上げます。

日本には2025問題があります。『団塊の世代』と称される昭和22年～24年生まれの人口構成が、昨年から75歳以上の後期高齢者に達し初めているため、2025年には高齢化社会のピークに達します。私も団塊の世代に生まれた一人ですが、令和3年度の本会の施術管理者会員数は、80歳代が17名、70歳代が120名も現役で柔道整復施術に従事しています。定年がないため健康であれば生涯現役が可能です。また、私の施術所の患者さんは私より高齢者の方が大半を占めています。加齢で体がガタガタですから痛いところばかりですが、整・接骨院の施術で自立可能な健康寿命が延びる手助けをしている実感がありますので、選択した職業が柔道整復師でよかったと毎日の施術に従事しながら実感しています。

むすびになりますが、本年5月は役員改選となります。監事という役職は会員の皆様を代表し、理事会や重要な会議、諸事業・活動等に参加、埼玉の業務執行状況、経理及び財産管理、事務局職員執務状況等、多岐にわたり監査することが職務です。役員改選任期満了まで忠実に職責を全ういたします。

本会の適正な運営並びに事業活動には皆様のご理解とご支援が不可欠です。今後ともお力添えの程よろしくお願い申し上げます。

監事 吉田 幸作



会員の皆様、明けましておめでとうございます。

健やかに新年を迎えられたことと謹んでお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業が中止を余儀なくされました。こんな危機的な状況だからこそ2023年をコロナ禍からの復活の年とするために、安心安全な施術の維持と実施、また会員一致団結し、基本理念を再認識し、新たな改革に向け邁進していかなければと思います。

最後に柔道整復師会の一層の発展のため微力ではありますが、全力で監事としての職務に取り組んでいきたいと思っております。

本年もご協力とご理解を切にお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。

令和4年度 保険業務講習会を振り返って

保険部長 山本 光彦

令和4年10月23日（日）、コロナ禍により3年ぶりでしたが保険業務講習会を盛会のうちに終えることができました。会員皆様のご協力のおかげと感謝いたします。

徐々に規制がなくなりましたが集会は人数制限を設け、集会参加以外の会員は配信での視聴をお願いするというハイブリット方式となりました。埼玉県保健医療部国保医療課より木南様、関東信越厚生局指導監査課より稗田様、全国健康保険協会埼玉支部より柴田様、埼玉労働局より石川様、4名の講師をお迎えしました。講師の方々には配信のために講義時間を短縮していただくなど多大なご不便をお掛けしました。会員の皆様は早朝より、日頃忘れがちな協定について、支給申請における注意点、明細書等の変更点、埼玉県の支給申請状況、労災事故等について熱心に受講していただきました。

保険部員は前日からコロナ感染防止のため受講用椅子の間隔をとり、換気や消毒の手順などを何度も確認して臨みました。当日は集会で参加いただく会員が安心して受講できるように総務部員、保険部員、事務局で対応にあたりました。日頃から感染予防を実践しておりますが、行動様式や受講形態の変化に即応していかなければならないと改めて感じました。また、講習終了後から事務局で11月1日からの配信に向け編集作業を早々に行いました。全国に先駆けての取り組みのため各自が慣れない作業に奮闘しました。しかし、QRコードでの読み取りがうまくいかない等の課題もありました。保険証とマイナンバーカードの一体化も2024年に迫っていますので、今後は更なるアップデートを行い時代に取り残されないようにDX化を進めたいと思います。

令和4年度 保険業務講習会アンケート結果

- ・集会参加 会員 28名
- ・配信視聴 会員 653名

高齢、パソコン、スマホを使用していない、Wi-Fi環境がないなどの理由で参加、視聴ができない会員を除き9割を超える会員に参加していただきました。

視聴会員 年齢構成 (有効回答数651名)

20代	1.4%
30代	5.5%
40代	19.5%
50代	28.7%
60代	30.1%
70代	13.8%
80代	0.9%

支部別 会員視聴割合 (有効回答数651名)

浦和	95%	川口	92%	大宮	91%
川越	95%	西部	87%	東松山	89%
秩父	80%	本庄	88%	熊谷	89%
北埼玉	90%	東部	85%	埼玉葛	90%
朝霞	94%	中央	93%	草加八潮	71%

『関東関東信越厚生局講習内容は理解できましたか』(有効回答数651)

理解できた	99.8%
理解できない	0.2%

『協会けんぽ講習内容は理解できましたか』(有効回答数651)

理解できた	100%
理解できない	0%

『埼玉県保健医療部国保医療課講習内容は理解できましたか』(有効回答数651)

理解できた	100%
理解できない	0%

『埼玉労働局講習内容は理解できましたか』(有効回答数651)

理解できた	100%
理解できない	0%

『本会保険部講習内容は理解できましたか』(有効回答数651)

理解できた	100%
理解できない	0%

『各講習時間は適切でしたか』の問に対する回答(有効回答数632)

丁度よい	85.6%
長い	14.4%
短い	0%

『今後も配信方式の講習を希望されますか』の問に対する回答(有効回答数651)

希望する	92.8%
希望しない	0.7%
どちらともいえない	6.5%

『今後講習会のテーマとして希望する内容をお知らせ下さい』の問に対して複数回答のあったもの(有効回答数270件)

- ・患者照会について
- ・返戻具体的な内容と対策について
- ・療養費の今後の見通し
- ・柔道整復師としてスキルアップになるもの
- ・交通事故、自賠責について
- ・記載例の提示は今までなかったので良かった
- ・マイナンバーカードと保険証
- ・将来に希望の持てる講習会

『ご意見・ご希望等がありましたお知らせください』の問に対して複数回答のあったもの(有効回答数181)

- ・医療機関との併給について、日整、県単位で解決するようお願いします
- ・配信は何度も受講でき、会場への往復時間も必要なく続けてほしい
- ・業務の拡大について希望が持てるように
- ・患者減、収入減で救済措置はないのか
- ・リモートの方がわかりやすい
- ・非常に勉強になりました
- ・編集作業お疲れ様でした

日整全国少年柔道大会

事業部長 増田 泉

令和4年11月20日（日）講道館に於いて、第31回日整全国少年柔道大会、第12回日整全国少年柔道形競技会、第3回全国柔道整復師高段者大会が開催されました。

本大会は、柔道を通じて少年少女の心身の健全な育成に努めるとともに、自己の鍛錬と研磨に努め、柔道の普及発展に寄与することを目的として開催されています。

今回の大会は有観客で選手1名につき保護者1名を入場可能にして開催されました。今年度も、試合の様様をYouTubeでLIVE配信を行い、感染症対策の一環として、事前に競技役員ならびに協力会員はもちろん、参加選手・監督・コーチ・保護者などのすべての関係者に1週間前から健康チェックシートの提出を義務づけ、各出入口に消毒用アルコールを設置しました。

昨年同様に開会式においては1回戦出場チームの16チームのみとし選手は間隔をあけて整列し式も簡素化、試合では各試合場2試合終了するごとに畳の消毒をしました。また、館内はマスク着用、選手も試合以外マスク着用など感染対策を徹底した大会となりました。

選手たちは、コロナ禍で練習もままならない状況の中ですが日頃の練習の成果を存分に発揮し、最後まで諦めない姿を見せてくれました。さすが全国大会と思わせる試合内容が多い戦いでした。

埼玉県の試合結果は、団体戦は検討むなしく一回戦敗退。形競技は僅差で決勝進出にはなりませんでしたが。高段者大会では五段の部 荻野祐介、七段の部 高橋洋一（東部支部）が優秀選手賞を受賞いたしました。



令和4年度埼玉整骨学会・ほねつぎ技術講座報告

学術部長 原田 禎久



埼玉整骨学会

令和4年11月13日（日）3年ぶりとなる対面での学術研修会、研究発表が本会3F大会議室にて開催されました。コロナ感染症の第8波が懸念されるなか多くの会員が参加されました。新企画として正会員限定ではなく、準会員や学生にも門戸を開き日頃の研修や学習の成果を発表して頂きました。

7月には第1回「ほねつぎ技術講座」がスタートしましたが、今回も会員発表の後、第2回が行われました。日整「匠の技」伝承プロジェクトでも柔整師が外傷、特に「骨折」「脱臼」に特化した指導者講習を実施しております。本会も「ほねつぎ」に原点回帰しベテランには再確認、次代を担う若手には繰り返し訓練することで、技術向上を図っております。こうした流れの中で今回の研修会では純粋な外傷に対する発表が少ないことは学術部としても反省するところです。

日々、外傷に対する探究心を持ち施術する中で様々な疑問を問う研修会、また一方向の勉強会ではなく、双方向での研修ができるよう工夫してまいりますので是非、貴重な機会を利用して自身レベルアップしてください。

第2回ほねつぎ技術講座

令和4年11月13日（日）本会会館において第2回の「ほねつぎ技術講座」が開催されました。前回（7月3日）からの継続テーマである「前腕骨遠位端骨折」今回はスミス骨折を講師渡邊一民副会長の詳細な局所解剖、整復固定理論があり参加者は熱心に聴講していました。また後半は整復固定実技をグループに分かれ、より実践的に患者役の前腕にスミス骨折の骨片転位を前後・側面と描き術者のイメージを整え整復操作の訓練。そして実際に整復を完了して整復位のまま、金属シーネを装着して包帯固定の練習と一連の流れを把握して受講生が本骨折に対する理解が深まったと思います。最後まで反復して実技を行う姿に外傷（骨折）への各自の熱い思いを感じ、次回、更に将来へと充実した講座となるよう、講師を中心に学術部とサポートスタッフ一同努力してまいりますので、皆様の参加をお待ちしております。



(公社)栃木県柔道整復師会との情報・意見交換会を開催

総務部長 荻野 義之

令和4年11月3日（木・祝）午前10時30分から、さいたま市大宮区にある大宮ソニックシティビル905会議室にて、埼玉県と栃木県との情報・意見交換会が開催されました。

令和2年より新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となっていましたが、今回3年ぶりの対面開催となりました。本会から大河原会長ほか理事6名と監事2名、栃木県からは田代富夫会長ほか理事8名、監事2名が出席しました。会議では、明細書の交付、柔整審査会などの保険関係、新入会者の獲得・拡大について、メディアの活用を含めた広報活動、介護保険の総合事業参入などをテーマに、各県の現状、今後の取り組みなどについて幅広く、積極的な意見が出されました。



第66回埼玉県公衆衛生大会 ～公衆衛生事業功労者県知事表彰受賞～

広報部

令和4年11月9日埼玉会館において、第66回埼玉県公衆衛生大会が2年ぶりに開催されました。県民の生命と健康を守る地域医療の提供など、各分野において埼玉県の公衆衛生を長年支えた者の功労者として、埼玉葛支部 清水芳之会員が選ばれ、県知事より表彰されました。おめでとうございます。



運動療法としての歩行訓練

— 腰痛・膝痛・足関節痛と歩行訓練 —

東松山支部 山崎 博之



キーワード：運動療法、歩行訓練、異常歩行

はじめに

腰・膝・足関節の痛みを訴える患者で、施術を続けても痛みの改善がおもわしくなく、他に痛みの原因がないかと調べると、歩き方に特徴があり、左右の下肢に筋力の差を認めた。詳しく聞いてみると過去に下肢や腰の負傷の経験がありそのときに痛みや・固定により、脚を庇う歩き方をしていたという。

改めて腰・膝・足関節の痛みを訴える患者を診ると、その多くに本人に自覚はなくこちらの指摘で気が付く程度のものであるが、歩き方に特徴があることが確認できた。その患者に従来の施術に加えて歩く動作、必要な筋力の強化・動かし方を理解して正しい歩き方ができるように訓練を行ったところ、患部の痛みも改善する効果が認められたので、その運動療法として使える歩行訓練を今回報告していきたい。

歩くとは（歩行分析）

『脚が地面についてから同じ脚が再び地面につくまで』（歩行周期）の繰り返しのことをいう。

この歩行周期は、初期接地・荷重応答期・立脚中期・立脚終期・前遊脚期・遊脚初期・遊脚中期・遊脚終期

以上の8パートで構成されおり、この中で特に身体を前進させるための体重・地面の衝撃の吸収、必要な重心の移動を滑らかに行う機構をロッカーファンクションといい次の3つの機能で構成されている。

ヒールロッカー

重心下降時の衝撃吸収する機構

アングルロッカー

重心を前方に移動する機構

フォアフットロッカー

重心を上を移動する機構

これら3つの機構は足関節を軸に行われ重心をスムーズに移動させる。これらの仕組みが正しく機能した歩行は連続した運動の対称性と一定のリズムのある歩き方となる。

歩行訓練

今行われている歩行訓練は、動かす脚に対して、しっかり動け・しっかり上げろが中心になっている。軸足でしっかり立てという意識を植え付ける訓練ではないことが多い。この訓練方法だと上げる方の脚ばかりに意識がいき、軸足に対する意識が少なく安定して歩けるようになるのに時間がかかる。また軸足が安定しない歩き方は、歩く動作に無駄な動きが増える。それが足関節・膝関節・腰への負担となり痛みの原因となっているのである。

そこで今回軸足の動きに注目した歩行訓練を提案していきたい。

次の3つの訓練を被験者の状態により選択して行う。

やり方（以下すべての訓練で共通）

- 1 基本姿勢をしっかりと意識する（図1）
- 2 リズムで動かさないように一回一回区切っ

てゆっくりおこなうこと

- 3 最初片側ずつ訓練を理解できたら交互におこなう。
- 4 回数は、20回×3セットを目標に行う。

基本姿勢

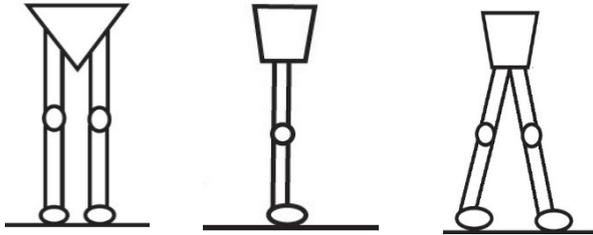


図1

1 足あげ訓練

3つのロッカーファンクションを正常に機能させるために、必要な基礎を作るもっとも必要な訓練である。

足関節で重心を意識できるようになり安定して、足があげられるようになるために必要な筋力、動かし方を確立する。

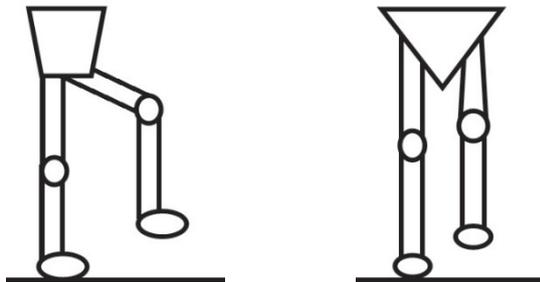


図2

方法 (図2)

肩幅に足を広げて立ち重心がぶれないように、床と腿が平行になるように足を上げる。その際ふらつく場合は、椅子などで体を支えてもよい。

2 踏み出し訓練

アングルロッカー・フォアフィットロッカーの基礎となる訓練である。軸足で荷重を後ろから前へとそして上へと移動できるようになることを目標にする。重心を前方に移動する意識を覚

える。

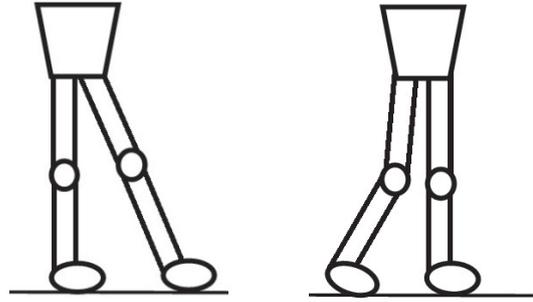


図3

方法 (図3)

足は肩幅に左右前後に訓練する人の幅程度に開く、初めに後ろの足の踝・膝・腰・肩が一直線になるように、その姿勢から前足の踝・膝・腰・肩が一直線になるようにスムーズに上半身を移動する。

3 振り出し訓練

フォアフィットロッカー・ヒールロッカーの基礎となる訓練である。踏み出し訓練に後ろ脚の移動が追加した訓練、足の移動を中心に行う。目的は、脚は上げるのではなく振り出すということと、衝撃吸収のできる接地を覚える。



図4

方法 (図4)

足は肩幅に左右前後に訓練する人の歩幅程度に開く。踏み出し訓練の後ろ脚から前の脚に重心移動開始し、後ろ足で床を押し推進力をつけその勢いで振り出す膝・足の関節を利用して、体重及び落下の衝撃を吸収しながら接地する。

症例1 10代 女性

主訴として、腰痛、足の疲労感

3歳の時に右足小趾の手術を受けその後2カ月ギプスで足関節を固定して生活する。個々の筋力は異常というレベルの低下はない。

歩行分析

右脚荷重応答期、右足接地後に右上体を上に持ち上げる。

左脚遊脚期に右上体を持ち上げた事により骨盤が本来と逆の方向に傾き、左脚を振り出したときに骨盤の回転が正しく行われず左脚接地時に右足に交差するまで左脚が横に流れてしまう。

これはギプスによって足関節固定された状態での歩行が長期間続きアンクルロッカー・フォアフイトロッカー機構が働かない歩行の癖がつきその歩き方が固定してしまっていたことが原因であると推測できる。

訓練

アンクルロッカー機構の機能改善のため踏み出し訓練を中心に行う。訓練は自宅を中心に週一回程度訓練修正のため通院というサイクルで行った。一か月経過まだ完全とは言えないがロッカーファンクション機構が正しく働くようになってきており、腰痛、足の疲れも出なく生活できている。

症例2 小学生男子

サッカー練習中右足を捻り来院。今回の負傷前から歩き方に変化を感じないが練習すると足が痛くなることもある。蹴ったボールの飛距離が出なくなるなどの不具合が出るとのことであり、半年前にも右足を負傷しており、その後からこのことで歩行分析を行う。

歩行分析

右脚荷重応答期、右足接地後足関節が不安定で肩が左に振れ、右脚で体を支えられていない。

右脚前遊脚期に床を押す力が弱いと身体への推進力が乏しく下肢を振り出す威力が弱いと足を引きずるようになってしまっている。

右脚の各筋力測定では、筋力の低下は確認で

きなかったが右足で身体支える動作、右足片足立ちでは体が安定しなかった。これは、ロッカーファンクション機構主に、フォアフイトロッカー機構が正常に機能しない歩行になってしまったことが原因で、不具合が生じていると推測できる。

訓練

今回の捻挫施術終了後より、右足ロッカーファンクション機構が正常に機能するように、振り出し訓練を中心に行う3回目の訓練後ロッカーファンクション機構が正常に機能した歩行となり訓練終了。その後足関節の不具合が出なくなり、ボールも以前のレベルまで蹴ることができるようになった。

まとめ

今回の症例で異常な状態での歩行は、1例目は、数年間、2例目は半年間と期間が異なるが、2名とも年齢が若いと少ない期間で効果が認められた。

現在何人かの訓練を行っているが年齢が高いと効果が出てくるのに時間がかかっている。

訓練の効果は、異常が出ている期間というよりも年齢が関係している可能性を示す事例が多く認められ、これらの関係を明らかにして行くのがこれからの課題である。

最後に

今回この訓練は、負傷後の歩行異常の改善を対象としている。研究を進め病的な歩行異常の改善に利用できるようにしていくために努力していきたい。

参考資料

原著者Jacquelin Perry Judith M.Burnfield

統括監訳者 竹田 功

ペリー 歩行分析 原著2版

—正常歩行と異常歩行—

第1部基本、第2部正常歩行

2014 医歯薬出版株式会社

アキレス腱再断裂後の一症例 — 再断裂後の経過について —



準会員 中村 直人

はじめに、今回、保存療法後10w後、再断裂の症例を扱うこととなった。一般的に再断裂後は観血療法が選択されることが多い中、再度、保存療法にて加療した症例について、報告させて頂く。

(解剖)

アキレス腱は、人体で最大でもっとも強い腱である。(全長約15cm、直径約4~9mm) 断裂時でも歩行は可能であるが、つま先立ち(ヒールレイズ)不能とされる。足関節を底屈させる筋の中でも体重に耐えうるのはアキレス腱のみで、機能的にヒールレイズを出来るようにしなければならない。

(症例)

患者 45歳 男性 職業 ハウスクリーニング

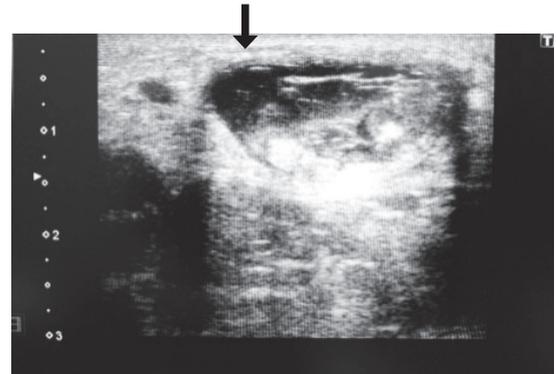
(受傷から当院受診までの経過)

冷蔵庫を抱えたまま仕事場の階段より落下、右足を着いた際受傷する(3/6)。他医院にて保存療法を選択され、加療する。受傷後約6wで固定を除去し、歩行装具を使用した。装具を外して運動して良いと指示のもと、自宅にてリハビリ中に片足ヒールレイズをした際に、10wで再断裂する(5/15)。再度保存療法による治療を望み複数の医療機関を受診したが、観血療法を勧められる。その後11wで当院を受診する(5/24)。

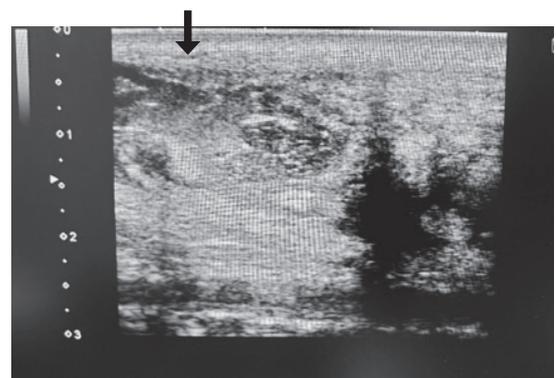
(初検)

トンプソンスクイズtest (+)、アキレス腱リリース消失があり、エコー検査をした結果、画像を参考にアキレス腱の再断裂と評価した。

初検時エコー画像短軸像 低エコー像にて断裂を示唆

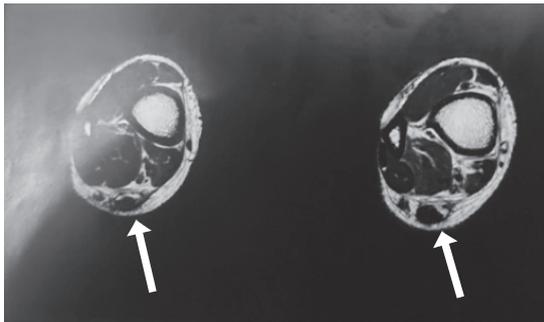
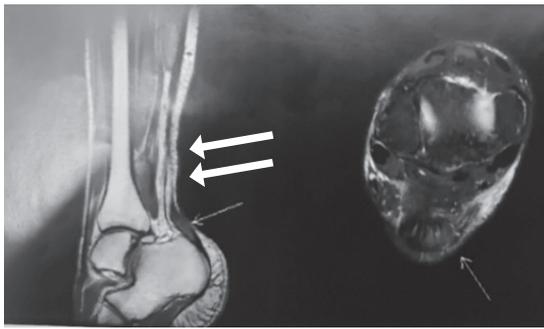


長軸像 矢印が断裂部



その後も経過観察で必用に応じ、エコー検査による確認や近医に依頼しMRI画像で確認する。

約4wMRI画像 高信号領域に断裂部がある。
右図が上位の再断裂部、再生が進んでいる。



(施術)

施術に入る前に、初回受傷時と同様に長期の固定となる事、日常生活の注意点等を説明し、承諾いただいた。

(整復)

患者は腹臥位、膝関節軽度屈曲、足関節底屈位で整復を行う。術者は両手掌にて、下腿中樞側より圧を加えながら末梢側にかけて、圧迫する。この際に、下腿三頭筋を“しごく”様に圧迫する。(アキレス腱の断端を接近させる。)



(固定)

固定は足関節最大底屈位にする。下腿前面～

前足部 (MTP関節近位) までをキャスト材で前面副子を作成する。腹臥位にてテーピングを貼付する。綿包帯にて前面副子の上下端を固定する。(その際に患部を有窓化する。) それから後面副子覆う下巻き包帯を行うが、その際にスポンジや綿花をkager's triangle部に挿入する。下腿後面～足底部までキャスト材により後面副子を作成する。最後に、後面副子を包帯固定する。

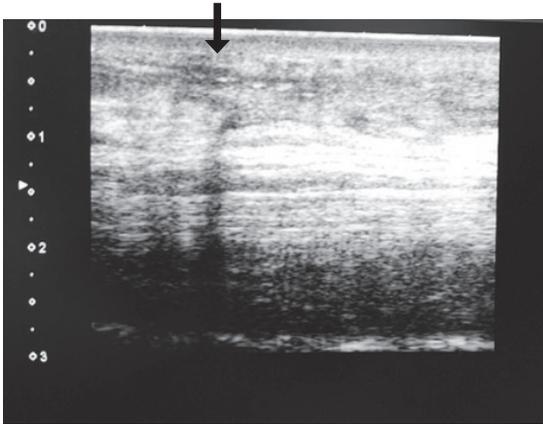


(当院での施術経過)

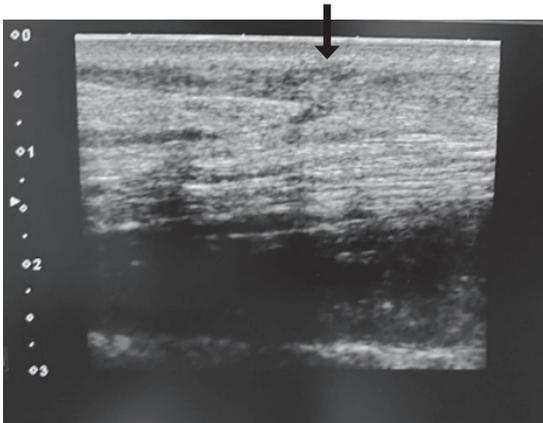
後療法は、後面副子を外し、患部を観察しながら行う。受傷直後は干渉波治療器及び冷罨法を施行し、再断裂整復後3日目より温罨法に変更する。同時に超音波治療器も使用する。受傷から2wまでは完全免荷歩行にて患部の安静を保つ。3wより腹臥位にて足指の運動を開始。この頃になると僅かな連続性を触知できるようになる。7wより足関節の底屈運動を開始する。後面副子を除去し両松葉にて1/3荷重の歩行を開始する。3w頃と比較してアキレス腱のボリュームが増し、表層では連続性を触知できる。8wより座位にて足を着く練習を開始する。歩行も片松葉での外旋位歩行に変える。9wよりバイブラで浴槽内での自動運動を開始。11w、エコーにて観察したが、経過良好である為、前面副子も除去しサポーターを着用しての歩行を許可する。12wより両足でのヒールレイズを開始する。

経過途中でのエコー画像

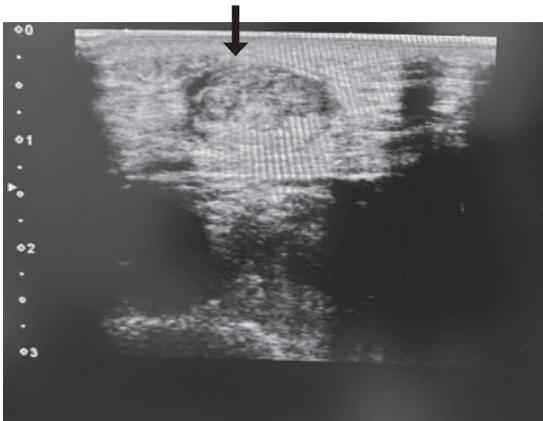
約4w長軸像 低エコー像は残存するも初検時よりは軽減。



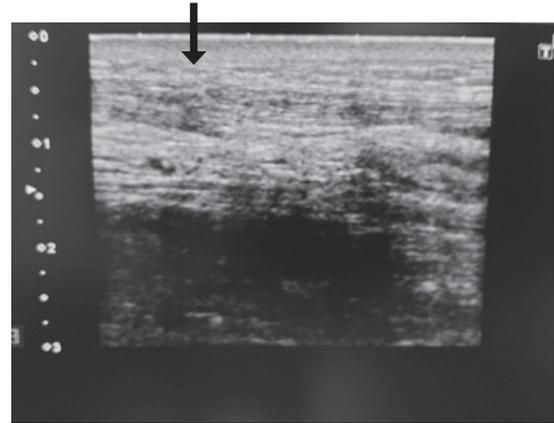
約8w長軸像 4wと比較し低エコー像軽減。一部連続性を確認。



約11w短軸像



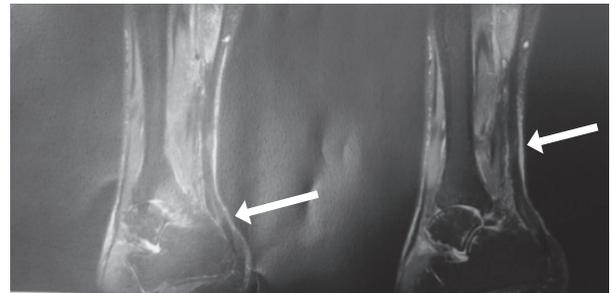
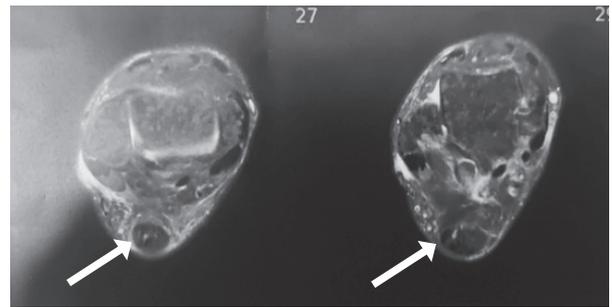
約11w長軸像 連続性を確認できる。



MRI画像の経過

約11wMRI画像 高信号領域が改善し、腱の連続性が確認できる。

しかし、深層部には高信号領域があり再生途中である。



(考察)

今回は再断裂後の症例であったが、新鮮例と遜色のない結果となった。(高度の拘縮を残さなかった) 転医の医療機関を含めて、非常に長期の固定期間となる症例であった。(前医10wで再断裂、当院は11w固定) アキレス腱断裂で最も重要なことは再断裂を起こさせないことである。固定除去後のリハビリに於いても、腱の再生状態を考慮し、無理のない範囲で段階的に行うことが重要である。再断裂の予防が可能で

あることを施術者側から患者に伝え、リハビリ強度を上げすぎないように管理しなければならない。

今回、患者の保存療法に対する意欲が強く、長期に渡る施術でもモチベーションを保っていたのも良好な予後を導く大きな要因であると考えられる。固定はやむを得ず患者に負担を強いる事になるが、施術方針を誤解のないように患者側に正しく伝える事で相互に信頼を築き、円滑な施術を行うことができた。あらためて、インフォームドコンセントの重要性を再認識できた。

(終わりに)

リハビリ時に再断裂を起こした症例なので、患者自身の歩行やヒールレイズに対する不安は新鮮例と比較して強く、十分にコミュニケーションをとった上で行った。令和4年9月中旬現在経過は良好で、平地での歩行、階段の昇降も可能である。関節可動域も徐々に改善を示し、ヒールレイズも健側と比較し左右差が見られな

い程度まで回復している。治癒に向けてリハビリを鋭意継続中である。

参考文献

根本正光著：無血整復技法 根本整骨研究会出版部 1985

渡辺一民著：アキレス腱皮下断裂に於ける保存療法について第1回整骨研究会「賜恩」論文集より

日本整形外科学会診療ガイドライン委員会アキレス腱断裂ガイドライン策定委員会編集：アキレス腱断裂診療ガイドライン 南江堂 2007 p25～40, 53 臨床スポーツ医学・特集/アスリートのアキレス腱断裂をめぐって：Vol.24・No.10・2007 文光堂 2007 p1057～1072, 1079～1087

皆川洋至著：超音波でわかる運動器疾患 診断のテクニック メジカルビュー社2010 p217～219

月刊スポーツメディスン7号 ブックハウス・エイチディ 2015

埼玉学術研修論文

スポーツに及ぼす世界の身体構造の違い — 世界で戦う為の体づくり —



呉竹医療専門学校 木村 翔太

キーワード：筋肉のつき方、骨格の違い

【目的】

様々なスポーツが非常に人気になってきた今、日本人が各スポーツにおいて世界で戦うためにはどうすれば良いのか。また、世界と比較した時にながら違うかを身体構造の違いに着目して調査を行うことで、それらの得意・不得意

を補うためにはどのようなトレーニングを必要とするのかについて調査することを目的とした。

【方法】

世界の人種を、コーカソイド（白色人種）、モンゴロイド（黄色人種）、ネグロイド（黒色人種）の3人種に大別し、各国の得意なスポーツ、不得意なスポーツを国の環境や文化、過去のオ

オリンピックの各種目の上位国を調べ、スポーツに最適な骨格、その骨格に近づける為のトレーニング方法などを様々な文献を使用し調べた。

【結果】

人種別に見た身体構造の特徴と違いについて
①コーカソイド（白色人種）

まず身体構造的特徴から見ると、骨格自体細長く、腰背部や腹部の筋肉が非常に発達している。

元々コーカソイドの人々は、狩猟民族だった為、パワーを出すために体幹を意識して後ろ体重になり、弓矢を引いたりしていた為背面の筋肉が発達したと言われている。

実際にコーカソイド（白色人種）とネグロイド（黒色人種）の大腰筋の大きさを比較した実験では、筋肉の横断面積が3倍以上違うデータがある。また、ハムストリングスが発達している為、骨盤が後傾していて臀部が起立している。

これらの事から、白色人種が得意とする競技は水泳である。

腰背部や腹筋の筋肉が発達していると言う事は、上半身の比率が大きければ水に浮かべた時、水平に保つことができ水泳に有利であり、ハムストリングスが発達している事によりキックをする際にも有利となる。

また、環境の背景からコーカソイドの地域では先進国が多く水泳施設の充実している事も理由の1つである。

②モンゴロイド（黄色人種）

モンゴロイドはアジア系に多く他の人種と比較して最も骨格が小さいという事が最大の特徴である。骨格が小さいと言う事は筋肉量も必然的に少なくなってしまう。

それに加え、体幹の筋（腰背部、腹部、ハムストリングスなど）が発達していない。速筋線維が少ない。そして、前腕や下腿などの末梢の部分に過剰に筋肉が着いていることが多いため、体を動かす際に無駄なパワーを要すること

になる。つまり、大きなパワーや瞬発的な動きを要するスポーツには非常に不向きなのである。しかし、体操やフィギアスケートといった「綺麗に美しく魅せる」こういった競技は有利に働く。近年では体操やフィギアスケートの過去のオリンピック成績を見ても日本や中国、韓国などの国が常に上位にランクインしていることがわかる。

不得意なスポーツでは、短距離走やバスケットボールやラグビーなど体格的な面において不利となるものが多い。短距離走では瞬発的な動作に劣っている為に不得意としている。バスケットボールやラグビーなどのコンタクトスポーツでは骨格が最も小さいのがモンゴロイド（黄色人種）の特徴である為、プレー中の接触時に当たり負けしてしまう為である。

③ネグロイド（黒色人種）

ネグロイド（黒色人種）は、モンゴロイド（黄色人種）とは反対にほかの人種と比べ1番骨格が大きく筋肉量が非常に多い。体幹の筋肉が非常に大きく発達しており、末梢の筋肉が必要最低限の筋肉量である。

つまり、陸上の短距離走が得意とする理由は、体幹の筋肉が発達している為、大きなパワーや瞬発的な力を発揮する事が得意である。

逆に、サッカーやラグビーといった試合時間の長い競技は遅筋線維の発達が劣っているため不得意である。

しかし、マラソンを見た時にいつも上位にいる選手はネグロイド（黒色人種）が多い。これには筋線維以外の要素が関係していると考えられている。例えば、心肺機能など。

最も影響を与えているのはその国の「所在地」である。マラソンの強い国として、ケニアを例にあげる。ケニアはアフリカ大陸の東側、赤道のほぼ真下にあり、標高は平均1500mとされている。標高が高いとそれだけ酸素の濃度が薄い。つまり、彼らは常に低酸素下で生活していることにより、平地に住んでいる我々日本人よりも

心肺機能の能力が高い。その為、筋線維タイプによるデメリットを克服し、マラソンでも活躍している。

これらの事から、スポーツに最適な身体構造とはネグロイド（黒色人種）である。

では、我々モンゴロイド（黄色人種）はどうすればネグロイド（黒色人種）の様なスポーツに適した身体構造になる事が出来るのか。

トレーニング方法を調べた結果を以下で述べる。

その1つとして、速筋線維を肥大させる方法である、ネガティブトレーニングが有効である。

ネガティブトレーニングとは、筋肉のネガティブ動作（筋肉の長さを伸ばしながら収縮する）、エキセントリック収縮（遠心性収縮）を引き起こし、その作用によって筋肉を効果的に刺激が可能となる。エキセントリック収縮とは逆の作用である、コンセントリック収縮（筋肉が縮みながら力を出す、求心性収縮）、ネガティブ動作に対して、ポジティブ動作と比較するとより大きな重量に耐えることが可能であり、約130%ほどの強い力を発揮する事が出来る。その理由は「チチン」と呼ばれるタンパク質。これが、バネの様に作用し、ブレーキ動作がかかるネガティブ動作を補助することで、大きな重量に耐えることができると考えられている。

高重量を扱う為しっかりと疲労させてインターバルを長めに設定することで筋疲労を回復させることが重要である。

スクワット（作用筋:大臀筋、脊柱起立筋、大腿四頭筋、ハムストリングス、上腕三頭筋）、

ラットプルダウン（作用筋:広背筋、僧帽筋）、アブドミナルクランチ（作用筋:腹直筋）などを行い、体幹の筋肉を発達させながら速筋繊維をトレーニングする事が最も効率的である。

【考察】

今回、3つの人種がどんな特性を持ちどんな欠点があるのか調べた。遺伝的に体の構造や筋肉のつき方に違いがあり、それが劣っていたとしても科学的根拠に基づいたトレーニングやストレッチなどを行うことで補うことが出来ると分かった。つまり、これからの時代において日本人が世界で活躍する為には競技別に強豪国の身体構造を分析することが大切であると考えられた。このようにして、コンディショニングを行って整えることで、身体的なアドバンテージの差を埋め、各競技における強豪国に対しても同等、もしくはそれ以上に対抗することが可能である。その結果、日本人選手が様々なスポーツにおいて、今より更に世界で活躍出来るのではないかと考えた。

【参考文献】

日本体育・学校健康センター：筋肉の科学からスポーツをみる、月刊国立競技場：2001.3
Jared W. Coburn, Moh H. Malek：NSCAパーソナルトレーナーのための基礎知識、第2版、特定非営利活動法人NSCAジャパン：295-346, 2021
庵野拓将：科学的に正しい筋トレ 最強の教科書、青柳昌行、14版、大日本印刷株式会社：65-78, 2022

「手で学ぶ」 ～令和4年度第1回支部学術研修会の開催報告～

大宮支部長 池田 晃一

新型コロナウイルス感染第7波の収束を受け、令和4年10月30日埼玉会館に於いて第1回支部学術研修会を開催しました。本研修会は支部の事業ではありますが、日整会員の拡大も目的に行い、埼玉会員並びにそのもとで働く勤務柔道整復師や柔整学校の学生も参加対象としました。開催形式は新型コロナウイルス感染対策や遠方の方も参加しやすい体制を考慮し、来場とオンライン受講のハイブリッド方式で臨みました。柔整専門学校の講師やパーソナルトレーナーとして活動する当支部の増田哲男会員を講師に招き、鎖骨骨折やボクサー骨折など5つの傷病について、臨床例からみた発生機序と骨片転位の理論を復習し、100円ショップで購入できる安価な道具・固定材料を用いて、学生時代に教わった助手を用いた整復固定法ではなく、一人で開業した際にも対応できる整復から固定まで一連の操作で完結させる治療法を実演して頂きました。

参加者は埼玉役員の本山光彦理事をはじめ、当会所属のベテラン会員から現役学生まで幅広い層となりましたが、全員が術者・患者双方の役を体感し実践できるよう2人1組となり各組毎に講師が直接指導する中、終了予定時間を1時間以上超過するほどの技術習得と熱い議論が交わされました。研修会終了後には皆様から「柔道整復術の継承の大切さを感じた」、「治療技術の多様性について勉強になった」との声や「他傷病の一人整復固定法もやって欲しい」などシリーズ化の要望を頂きました。専門書に掲載されている柔道整復は基礎として熟知しなければなりません、本研修会では既存の治療法以外にも応用が利く柔道整復師の奥深さを知り、日々の研鑽の大切さを再認識する機会となりました。

日整では「匠の技」講習会、埼玉でも大河原会長が進める「ほねつぎ技術講座」が行われ、私も参加させて頂きました。講師陣から整復の基本操作に加え、教科書には掲載されていない細かい技術（患部の握り方など）を直接ご指導頂き、机上だけでなく実際に触れて体感することの大切さを改めて感じました。

オンライン開催に関しては利点もあると思いますが、通信環境による映像・音声などの不具合や言葉で表現することが難しい細かい技術の伝承には限界がありますので、できる限り対面での参加を促し「手で学ぶ（＝自分の手で感じ、技を習得する）」機会を増やしたいと考えています。コロナ禍に於いての開催なので感染に対する考えは様々あると思いますが、感染予防対策を万全にして次回研修会にはより多くの方にご参加頂けるよう準備していきたく思います。



浜島桂先生を偲んで

埼玉ツーリング同好会

代表 柿沼 泰広 (東松山支部)

また一人惜しい人を見送らなければいけませんでした。午前の診察を普通にこなした土曜日の昼下がり、その時は突然でした。本人が幹事の待ちに待ったツーリング本番の前日である。「明日のツーリングは体調不良で私は欠席しますが皆さんは予定通り参加できる人は参加してください…」との本人からの伝言をご家族様より頂きました、それが私達への最後のメッセージとなってしまいました。ツーリング当日は「晴れ男」の異名をもつ浜島先生らしくそれまで続いていた秋の長雨もどこへやら、快晴でした。皆で「浜島先生、ワクワクし過ぎちゃって動悸でもしちゃったかな？」等と冗談を言いながら行く所行く所で写真を撮ってはグループラインにアップしていたのですが翌日になっても全く返信が無い事に少し戸惑いを隠しきれませんでした。そして「昨夜眠るように亡くなりました…」と訃報が届いたのは火曜日の事でした。急性くも膜下出血（脳動脈瘤破裂）だったそうです。余りにも急な事で頭の中の本棚が一齐に倒れ散らかった様で何も手がつかず立ち竦むだけでした。ポッカリ空いた心の中の穴。しかし、ご家族様の事を考えると私なんかの比ではない訳でそれを考えたらあらためて何も出来ずに只々立ち竦むだけでした。

1987年7月26日〔第一回SSTC埼玉県接骨師会ツーリング倶楽部IN赤城山〕に参加。35年前、発起人の一人である浜島先生との“バイク大好き者同志”としてのお付き合いが始まりました。これまでに数々のツーリングにご一緒させて頂いた思い出は数え切れません。日帰りツーリングが主であった私に「日本海に沈む夕日を見に行こうよ！」と誘って頂き、お泊りツーリングの楽しさを教えてくれたのも浜島先生でした。

ある草津ツーリングの一頁、一緒に草津の湯につかりながら私の頭に載せてあるバイク雑誌の懸賞で当たった特製タオルを見て「あれ！そのタオル当たったの？いいなあ♪」と、まるで子供のような羨望の眼差しの先生は可愛かったなあ（笑）



1987年ツーリング



浜島ファミリーも参加
房総ツーリング

同好会総会の日、先生が迷子になってしまい待ち合わせをした場所があります。毎日走る通勤路にあります。そこを通る度に雨の降る中、雨カッパを着てバイクに跨っている姿を思い出してしまいます。迷子になってしまうそんなお茶目な一面を垣間見せながらも四気筒レーサーを操り軽快にワインディングを走る先生、ハイウェイをビッグクルーザーのBMWで疾走する先生、海外ツーリングと称し赤い大地をハーレー

ダビッドソンで爆走！と、シチュエーションに合わせ愉悅に浸りながら乗りこなしていた浜島先生。

大勢で走っている時でも全体に目配り気配り見守りをして頂けるので安心して任せられるライダーでした。結局はこれが治療室でも同じ様に行われている訳で、当然ながら患者さんも安心して通院でき人気がある柔道整復師だったわけです。

先生の風を切って走っている姿は忘れません。最期までバイクを下りる事無く《ライダー！》として《バイク大好き人間！》として一生涯を走りぬいた先生。

本当に惜しい人を失いました、まだ早いですよ先生。大好きな浜島桂先生は老若男女問わず誰とも壁を作らず接してくれた私達の灯台です。道しるべのような存在の先生はもう居ませんが下は向きません前を向きます、そして前に進みます。何故なら私たちはバイク乗りですから、バイクにバックギアはありませんからね。

黄泉の国でもカッコ良くアクセル開けて走って居て下さい。私達はもう少しこっちで走ってから行きますから幹事として良いコース見つけて、いつものように下見して待っていて下さいね。

埼玉県接骨師会（現・柔道整復師会）ツーリング同好会発起人メンバー 浜島桂（享年七十八歳）
バイク乗り。

安らかにお眠りください。

合掌

埼玉ツーリング同好会一同



西伊豆ツーリング



富山県ツーリング



日本海の夕日を見に行こうツーリング



奥只見ツーリング

監事雑感

西部支部 松井 雄二

私に理事の経験はありません。監事として会員の皆様を選任いただき、まもなく4期8年の任期満了を迎えます。前年、大河原新会長体制となりましたが、2名いた副会長のうち1名が辞職、本会の生き字引的な事務局長も退職しました。

今回、広報誌発刊のせっかくの機会ですから過去2期4年間の近頃に、監事として思い至るところを下記のとおり書き分けてみました。

- ① 埼整会員令和3年度柔道整復施術療養費取扱高区分と考察
- ② 埼玉県の整・接骨院件数と1施術所あたりの対象患者人数
- ③ 柔道整復師として生き抜く
- ④ 監事から見る本会の執務現況

昨今、世相的に明るい話題は殆んどありません。地球温暖化に伴う予期できない世界的気候変動の継続、3年間におよぶ新型コロナ感染蔓延、ロシアのウクライナ侵略に起因するEU諸国との軋轢が生み出した小麦に代表される穀物材料と、天然ガス・原油等の化石エネルギー高、円安に伴う諸物価高騰の波が一気に押し寄せ国民生活を苦しめています。また、日本の過去20～30年におよぶ低い経済成長率、収入の伸び悩みがサラリーマン世帯はもとより、医歯薬業と共に私たち柔道整復施術療養費改定の上げ幅を微々たるものにしていてと考えます。

日本は赤字国債・地方債を合算すると、約1,200兆円の借金抱えていますので、貧乏国になのかと考えると決してそうではないようです。

Yahoo!で検索すると、資本金10億以上の大企業法人の内部留保という企業が貯めこんだ総金額が約500兆円もあります。実に日本の国家予算の4年分に相当する巨額です。さらに、国民の総預金額は現金だけでも1,092兆円をはじめ、家計金融資産を含めると2,000兆円を超えているとのことです。

これらの資産は一部の法人、個人富裕層が保有しているため、経済市場で運用されることがありません。急速な経済成長が望めない現状では柔道整復施術療養費改定の上げ幅の低傾向は今後も継続すると推察します。

① 埼整会員令和3年度柔道整復施術療養費取扱高区分と考察

埼整会員令和3年度柔道整復施術療養費取扱高をパーセント的に分別した場合、①取扱高500万円未満が54.8%、②取扱高500万以上～1,000万円未満が28%、③取扱高1,000万以上は17.2%の結果となりました。

埼整の柔道整復施術療養費取扱高区分は日整全体でも同様とのことです。

柔道整復施術療養費取扱高収入が500万未満の会員が半分以上では、地代・家賃・光熱費・人件費等の事業必要経費、健康保険、年金等の自己福利厚生費等を差し引くと、手元に残る利益はわずかになってしまいます。鍼灸・按摩・マッサージ師資格をお持ちの会員の方は別途収入源がありますが、柔道整復施術療養費だけの収入では生計維持が困難な会員が多数を占める現実が浮き彫りです。駅近や繁華街の好立地に開設されたカイロプラクティック・整体等の矯正自費施術と、もみほぐし・リンパマッサージ、アロマセラピー等の癒し系自費施術を取り入れる整・接骨院やグループ系列整・接骨院が巷に溢れる現状は由々しき事態ですが、ほとんどが複数の従業員を抱え、柔道整

復術療養費だけでは生計が成り立たず、背に腹は変えられないという事情というより、柔道整復師資格を利用した『利益優先の商売もしくは経営』です。

骨折・脱臼・打撲・捻挫・挫傷の外傷を施術することで保険医療並びに受領委任払い可能となっていますが、県内各所で『保険施術のみ』の施術所と『保険施術と自費施術』を混合する『施術所の二極化』が確実に進んでいます。

②埼玉県の整・接骨院総件数と1施術所あたり対象患者人数

埼玉県の整・接骨院数は、約3,000件。県民人口は約740万人です。

県民人口を接骨院数で割ると、整・接骨院1件あたり約2,200人となります。

0歳児から超高齢者まで含まれるため、整・接骨院が増加した現在では、以前と比較して人口密度の地域差を考慮しても来院患者数が減少して当然です。

③柔道整復師として生き抜く

職業として柔道整復師を選択した私たちは、開業地域に密着して患者さんと信頼関係を築き、地域の皆様に支えられつつ、日々施術に邁進することの一言に尽きます。先人・先達から伝承された柔道整復施術は必ず生き残ります。さらに伝承された柔道整復施術を後世に引き継ぐことも重要です。ちなみに、全国5万件の整・接骨院に、一日に来院する患者の平均を10名の来院者数として換算しても50万人の患者さんが整・接骨院を頼りに通院しています。この数字だけでも、整・接骨院は国民医療として定着しています。柔整師は施術者であり、整・接骨院の主役はあくまでも来院患者さんです。

④監事から見る本会の執務現況

監事は理事会や諸事業・活動等に積極的に参加して埼玉の業務執行状況・経理および資産管理、事務局職員執務状況等、多岐にわたり監査しています。

執務現状は会長・副会長、各部長等の理事者はもちろんのこと、新局長を含め4名の事務局職員・3名のパートさんも与えられた職責をよく理解し、職務を忠実に遂行しています。誰がどのように活動して貢献しているか等の評価はしませんが、役員、職員共に時間を要する問題解決をするためにリモート会議や資料作成等の時間外の在宅執務で多数の時間を割いています。

また、局長を含め4名の事務局職員は、以前の職員数と比較して少数のため、有給休暇の半分も取得できないほど多忙です。そんな多忙で諸問題を抱える理事者と事務局が協力して、まだ改良余地はあるものの、理事会や会員対象の講習会、研究発表会等のデジタル（リモート）配信が可能となりました。

会長をはじめとする理事者は、会員皆様の目に見える利益提供や還元は出来ないため、本会役員は何もやっていないというお叱りを受けそうですが、柔道整復療養費申請書審査で不利益被ることが無いよう関係各所と良好な関係性を保ち、皆様の生計維持を護る貢献していることは確かです。

日整・関東ブロック・他県との交流、自治体との折衝と請願、健保連、国保連との協議会等会合は年間に多数開催されます。

(本会事業活動ではありませんが、年間の政治連盟関連参加行事も多数です) 事業活動は各支部支部長や県部員のお手伝いをいただきながら、必要最小限の人数で、低予算で活動することに努めていることが数字として表れています。私は減多に人を褒めることをしませんが、『役職が人を育てる』の言葉のとおり、理事職に就任して経験が乏しい数名の理事さん、事務局職員の皆様は褒めるに値するほど確実に育っています。

『柔整考学』…その5

常務理事 山本 光彦

独楽吟をご存じだろうか。「独楽吟」は幕末の福井藩に生まれた国学者で歌人の橘曙覧（たちばなあけみ）が歌った和歌である。1994年（平成6年）6月13日、天皇両陛下がご訪米された際、歓迎式典でビル・クリントン大統領が「たのしみは 朝おきいでて昨日まで 無かりし花の 咲ける見る時」という歌人、橘曙覧の歌を引用してスピーチをされたことで脚光をあびた。「独楽」とは「ひとり楽しむこと」、「吟」は「詩歌を歌うこと」を指し全部で52首ある。すべての歌が「たのしみは」で始まり、末尾は「～とき」で結ばれる。まるで独楽（こま）を回して遊ぶように滑らかに楽しみが吟じられていれている。私も三首、詠んでみた。「たのしみは 転んで痛むその肩の 整復をして 無事を診るとき」

医療行為である骨折・脱臼の応急処置が法で認められている柔道整復師にとって整復は、その資格の生命線ともいえる。特に肩関節を脱臼した患者の整復は重要だ。患者は整復後に激痛から解放され、その場で治ったという感覚があるはずだ。柔道整復師にも整復という醍醐味（患者には申し訳ないが）と治したという感覚が物凄くある。

普段、何気なく動かしている肩だが、肩鎖関節・胸鎖関節・肩甲上腕関節（狭義の肩関節）の3つの解剖学的関節と肩峰-烏口肩峰靭帯-肩甲上腕関節で作る関節窩（第二肩関節）と、肩甲骨と肋骨による肩甲胸郭関節の2つの機能的関節から成り立っている。これらの関節が協調して動くことで人体最大の可動域を獲得している。その一方で、構造的には非常に弱い。関節窩が浅いために上腕骨頭は関節からはみ出ている。肩関節にはこの構造的な弱点をカバーするための機構がいくつか備わっている。最も代表的なものはインナーマッスルと呼ばれる腱板（棘上筋、棘下筋、小円筋、肩甲下筋）の存在だ。腱板には上腕骨頭を関節窩の中心に引きつける作用がある。関節唇は関節窩の周囲を覆い、関節唇と関節窩が吸盤のように働き上腕骨頭に吸いつく作用がある。さらに滑液による関節面の吸着作用もある。これは水にぬらした2枚のガラスを重ね合わせた状態に例えられ、互いにずらすことはできるが、引き離すことは容易ではない仕組みのことをいう。関節腔内では滑液の産生よりも吸収作用のほうが勝っているために、内圧は常に陰圧になっている。関節窩から上腕骨頭を引き離すような力が加わった時には陰圧が上昇して元の位置に戻ろうとする。関節周囲の靭帯による関節の支持性も重要な働きをしている。

人類は進化によって直立二足歩行という能力を手に入れ、上肢が自由になったことで、道具を使うことが可能となった。上肢の自由度の高さは、まさに肩関節の可動域の広さといえる。先日、肩関節脱臼の患者が来院したので学びなおしてみた。整復は患部周囲の余計な侵襲を避け、できる限り痛みの発生を抑えるべきだと改めて感じた。人間の体というのは知れば知るほど奥が深い。「たのしみは 肩関節の構造を 学びなおして 腑に落ちたとき」

柔道整復師としての見識を広げるために、学びという楽しみは尽きないのだと思う。

そして…、「たのしみは 仕事終わって疲れし肩を いたわり揉んで 麦酒呑むとき」

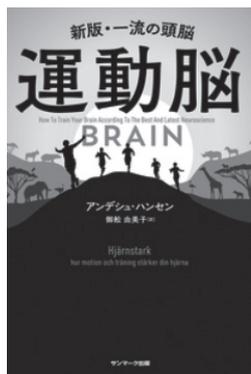
■参考図書 小田真午 市橋則明 編 「ヒトの動き百話」 市村出版 2011

「運動脳」

著 者：アンデシュ・ハンセン

訳 者：御船由美子

出版社：サンマーク出版



人口約1000万人のスウェーデンで67万部を超えたベストセラー。

最近運動もせず怠惰な生活を送っている。記憶力の低下も甚だしいので話題の本を読んでみた。長距離走で高揚感が得られるランナーズハイという現象は、サバンナで生きるために走っていた時代の名残だという。我々の祖先は生きるために狩猟採取をしてサバンナを走りまわった。走ったご褒美を脳がくれるという現象は、脳が何万年も変わっていないと証明らしい。具体的でわかりやすく脳と運動の相関関係が理解できる。学力、集中力、記憶力、創造性、脳のあらゆる力を伸ばす運動。お金もかからず、年齢制限もなく、健康を手に入れる。「運動は、副作用が一切ない薬だ。」という言葉が心に響いた。本書を読むより、運動しましょう！

「生き方」

著 者：稲盛和夫

出版社：サンマーク出版



挫折しそうな時、2004年8月に発売された、「生き方」を読み返す。基本が最も大切だと気付かせてくる本。

京セラ、KDDIの創業者である稲盛和夫さんの人生に対する考え方が書かれている。生きていくうえで大切なことは、正直であれ、嘘はつくな、人に迷惑をかけない、子供のころ親や学校の先生によく言われたことだ。わかっているつもりでも大人になると忘れがちだ。地位、学齢などは関係なく素直に真面目に一生懸命に働くことが、人として正しいかどうかを判断する基準となる。

業界は厳しい状況が続いているが、複雑な問題こそ原点に立ち返る。生きるということは魂を磨くこと。

新入会員紹介

(令和4年7月1日～令和4年11月30日入会)



中央支部

町田 泰之

〒365-0042
鴻巣市松原3-7-27
TEL 048-507-1869
(趣味特技)
柔道初段・マラソン



川越支部

大澤 伸哉

〒350-1175
川越市笠幡本郷4567-12
TEL 049-232-3737
(趣味特技)
野球・映画鑑賞



中央支部

桑原 志保

〒365-0028
鴻巣市鴻巣1186-8
TEL 048-507-5122
(趣味特技)
DIY



熊谷支部

原 一成

〒366-0035
深谷市原郷1962
TEL 048-571-0285
(趣味特技)
読書・登山・ドライブ



東部支部

永田 祥平

〒344-0046
春日部市上蛭田227-3-101
TEL 048-615-4625
(趣味特技)
将棋・映画・ボーリング



ご報告

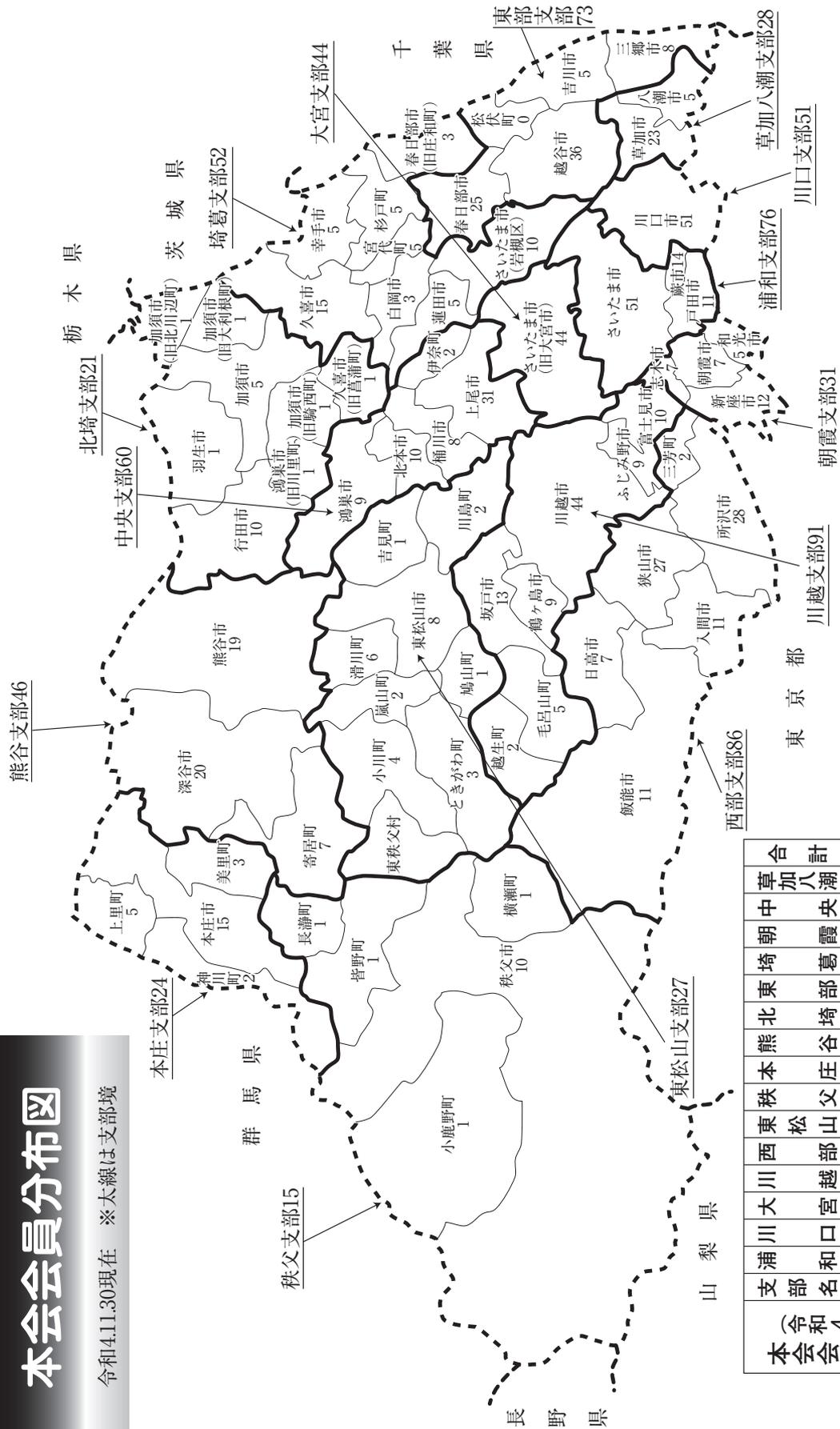
(公社)埼玉県柔道整復師会前事務局長磯川えみ子さんが、一昨年退職され闘病生活を送られていましたが、令和4年11月12日逝去されました。磯川さんは、本会の事務所が熊谷にある頃より長年勤務され、多大なる貢献をされました。ここに感謝を申し上げ、御冥福を祈ります。

合掌



本会員分布図

令和4.11.30現在 ※太線は支部境



支部名	会員数	準会員
浦和	七六	
川口	五二	
大宮	四四	
川越	九一	
西松	八六	
東松	二七	
秩父	一五	
本庄	二四	
熊谷	四六	
北埼玉	二二	
東埼玉	七三	
朝霞	三二	
中央	六〇	
草加八潮	二八	
合計	七二五	三一

(令和4・11・30現在)
本会員数

表紙の説明

トーベ・ヤンソンあけぼの子供の森公園

北欧の『ムーミン童話』の世界をモチーフにした公園。飯能市の職員がムーミンの作者であるトーベ・ヤンソンに送った一通の手紙がきっかけとなり、平成9年（1997年）に開園。

豊かな自然に包まれ森林がむき出しの状態の園内は、大人から遊び方を提供されるテーマパークではなく、子どもたちが大自然の中で自ら遊び方を生み出す力が問われる場所。

遊具もなければ柵もほとんどない「遊びは自分で作れ。でも、『楽しい』と『危険』は背中合わせ」子どもの成長に寄与するという意味で設置していないとのこと。

公園の代表的な建物である不思議な形の「きのこの家」。その内部は、螺旋階段が張り巡らされている。上から見ると「∞」のカタチをしている。「去ったものがいずれ戻ってくるという一連の流れ」を意味している。子どもの頃にこの公園で自然に親しんだ子どもたちが一時的に自然から離れ、成長して大人になってから再び飯能の自然を求めて戻ってくる。

子どもたちの生きる力を大きく引き出し、同伴する大人にとって、どこかに置き忘れてきた大切ななにかを思い出させてくれる。

そのほか、童話に出てくるスナフキンが釣り糸を垂らす「水遊び小屋」、図書コーナーが備わる「森の家」、軽食やドリンクなどを提供する「カフェピスト」などが点在、大人も子供も楽しめる場所である。

公式サイト <https://hanno-city.info/akebono/>



編集後記

今回ご投稿いただいた皆様、心より感謝申し上げます。

FIFAワールドカップ・カタール2022大会では、サッカー日本代表の選手たちが躍動し、予選リーグでは優勝候補であるドイツ代表とスペイン代表を相手に見事な逆転勝ち「Giant-killingジャイアントキリング」を成し遂げてくれました。このジャイアントキリングとは、「格下の選手（チーム）が普通は勝てないような格上の相手に勝つこと」であり、相撲では「番狂わせ」とか「金星」といった意味で使われる言葉です。

新型コロナウイルス感染症も、国産ワクチンや治療薬の開発が進み、有効な治療法が確立するにつれて、収束の形が見えてきております。引き続き、感染拡大防止へのご協力をお願いします。

我々の業界も、激動の時代、厳しい環境には置かれておりますが、下を向いても何も始まりません。本会の活動をはじめ、柔道整復師のことを正しく理解していただけるよう、前を向いて行動することが、とても大事なことであると考えます。

会員の先生方皆様には、日々仕事への思い、身の回りでのいい話、その他ご投稿をお待ちしております。また、写真撮影が好きな方、誌面に掲載してほしい写真等ございましたら、広報部までお申し出いただけたらと思います。

広報部へのご意見もいただけますと参考にさせていただきます。ご協力のほど、よろしく願いいたします。

柔道整復師倫理綱領

国民医療の一端として柔道整復術は、国民大衆に広く受け入れられ、民族医学として伝承してきたところであるが、限らない未来へ連綿として更に継承発展すべく、倫理綱領を定めるものとする。ここに柔道整復師は、その名誉を重んじ、倫理綱領の崇高な理念と、目的達成に全力を傾注することを誓うものである。

- 1、柔道整復師の職務に誇りと責任をもち、仁慈の心を以て人類への奉仕に生涯を貫く。
- 2、日本古来の柔道精神を涵養し、国民の規範となるべく人格の陶冶に努める。
- 3、相互に尊敬と協力を努め、分をわきまえ法を守り、業務を遂行する。
- 4、学問を尊重し技術の向上に努めると共に、患者に対して常に真摯な態度と誠意を以て接する。
- 5、業務上知りえた秘密を厳守すると共に、人種、信条、性別、社会的地位などにかかわらず患者の回復に全力を尽くす。

柔整倫理綱領について

広報部

厚生省（現・厚生労働省）からの指導もあり、日本柔道整復師会及び、全国柔整学校協会の双方の組織から起草委員を選出し、昭和62年（1987）に制定したものです。医の倫理が強く叫ばれ、求められている昨今、会員各位には綱領の意を充分理解し、実践されることを願ってやみません。

広報部から

広報誌に掲載する原稿をお待ちしております。

1. 論説、時評、学術、随筆、処世術等をお送り下さい。
2. 執筆にあたってのお願い
 - 1) 原稿はA4版で横書き、Microsoft Wordで作成。
※手書き原稿を提出される場合、事前にご連絡下さい。
 - 2) 原則として1,200文字以内にまとめる。
 - 3) 写真は2枚まで。(なくてもよい)
3. 引用文献は必ず著者名、著書名、巻頁、発行所を明らかにして下さい。
4. 送付方法
原稿およびデータを郵送またはメールにて送信ください
5. 送付先

〒331-8681 さいたま市北区宮原町1-166-6
(公社) 埼玉県柔道整復師会 事務局/広報部

E-mail : info@saisetsu.or.jp

次回の締め切り 令和5年5月31日

☆ 締め切り厳守でお願いします ☆





埼 整 広 報 No.104

令和5年2月1日発行

発 行 者 大河原 晃

編 集 人 楠 美 明 人

発 行 所 (公社)埼玉県柔道整復師会

〒331-8681 さいたま市北区宮原町1-166-6 電話 048-651-1211(代)

制 作 協 力 望月印刷株式会社

〒338-0007 さいたま市中央区円阿弥5-8-36 電話 048-840-2111(代)